

イエール大学 リチャード・レビン学長特別講演

演題："The University as an Engine of Economic Growth" (tentative)

日時：2005年11月29日(火) 2:30～3:15

場所：小柴ホール(東京大学本郷キャンパス)

講演は英語、同時通訳付、申込み不用、参加無料



リチャード・レビン学長 略歴

Richard C. Levin

1993年に第22代イエール大学学長に就任。アイビーリーグで就任期間最長の学長。
1968年 スタンフォード大学 B.A.(歴史)、オックスフォード大学で政治、哲学を学び、文学部学士取得。1974年、エール大学にて Ph.D.を取得、同年エール大学に勤務。技術革新についての経済学が専門で、特許システム、産業のリサーチと発展、反トラストおよび公的規制が私的企業に与える影響等についての著書多数。学長就任前20年間は教育、研究、運営に従事し、ミクロ経済、産業組織、反トラスト、石油産業、米国製造業の競争力、経済学思想史等を講義。経済学専攻長、経済学科長、研究科長を歴任。学長になってからは、大規模なキャンパス内の建物の改築や、地域との連携、化学や医療の分野で数十億規模の拡張を行ったりしている。Hewlett 財団の長。エール・オックスフォード・スタンフォード大学合同企業のトップ。

お問い合わせ先：東京大学研究協力部国際課

TEL 03-5841-2093

FAX 03-5689-7344

e-mail cs@adm.u-tokyo.ac.jp